

“キセラ川西のシンボル” 中央公園ワークショップはじまります

中央公園ワークショップの参加メンバーが決まり、いよいよ開始します！

前号でお知らせしましたように、川西市中央北整備部では、今回新たに整備を予定しています中央公園について、計画づくりから整備後の運営・活用方法などに至るまでを皆さんと一緒に検討していくための「ワークショップ」を企画しています。

市民の皆さんと一緒にアイデアを出しあい、ワークショップで取りまとめられた意見を、「中央公園」の設計の基礎資料として活用させていただきたいと考えています。

その参加者の募集につきましては、一般の部として、平成25年11月11日（月）に締め切らせていただきましたが、地元の「川西市中央北地区まちづくり協議会」からも若干名募集させていただいていますので、参加ご希望の方は、地区整備課（072-740-1207）へご連絡ください。

第1回ワークショップは、平成25年12月中旬頃に開催し、平成26年4月末ころまで、計4回程度を予定しています。

その途中の結果等につきましては、本「キセラ川西ニュース」で逐次報告させていただきたいと思えます。なお、ホームページ等にも掲載する予定ですので、併せてご覧ください。

中央公園のワークショップ参加者募集

～ キセラ川西に整備される「中央公園」を一緒に考えてみませんか ～

中央公園とは

キセラ川西に新しく生まれる中央公園は、この地区のシンボリックな公園で、約2.0haの面積を有します。市街地の中心部に配置される公園としては、比較的規模の大きいもので、近隣公園に分類されます。

周囲には体育館や温水プール、さらにせせらぎ遊歩道の計画などもあり、これらの施設との連携も期待されています。

公園は、広々とした空間を利用して、芝生広場や四季を感じる木や花を配置することで、市民の憩える場所になります。広場は、催しやイベントの開催も可能で、災害時には一時避難地としても活用できます。緑に置かれた空間は、昆虫などの生き物が集まり、子ども達が気軽に自然とふれあうことができます。

このように、様々な機能を詰め込むことができる公園について、市民の皆さんと一緒にアイデアを出しあって整備していきたいと考えています。

位置



中央公園のワークショップの概要と参加募集

- 今回のワークショップは、「中央公園」を対象として行います。
- このワークショップは、参加者の皆さんと「中央公園」の計画作りから整備後の運営・活用方法などに至るまでを検討していきます。
- ワークショップで取りまとめられた意見は、「中央公園」の設計の基礎資料となり、設計に反映させていただきます。

☆対象：18歳以上の市内在住、在勤、在学者で12月から平成26年4月末までの平日夜や土日祝に参加可能な方
 ☆定員：30人 ※定員超過の場合は抽選。
 ☆応募方法：【参加応募用紙】に内容を記入していただき、地区整備課へ提出。
 郵送、持参、FAXいずれも可
 ☆応募期間：平成25年11月11日（月）（必着）
 ☆提出先：〒666-8501 川西市中央町12番1号 Tel: 072-740-1207
 中央北整備部中央北推進室地区整備課 Fax: 072-740-1330

ワークショップとは

年齢や性別、仕事などが異なる様々な人たちが集まり、少数のグループで自分たちの思っている考えを話し合う会議方法のひとつです。「対等な立場で発言する」、「他人の意見を尊重する」など、ルールを決め、参加者が積極的に参加できる環境をつくり、案をまとめていく作業を行います。

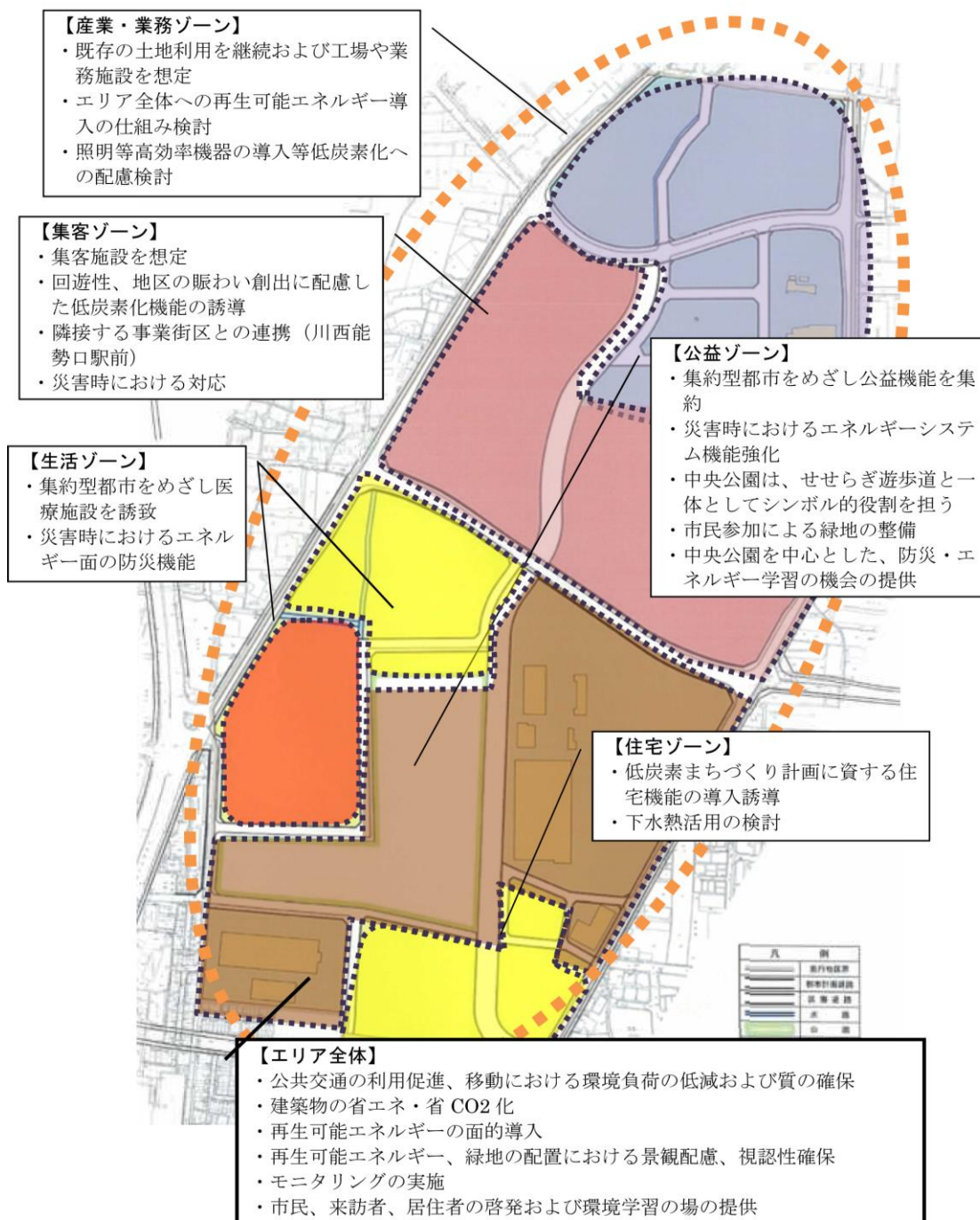


低炭素まちづくり計画について

中央北地区では、持続可能で、かつ環境にやさしいまちをめざして、民間活力の導入を積極的に行いながらまちづくりを進めています。

そこで、川西市は、平成23年6月に「中央北地区のまちづくり方針」を策定し、その実現に向けた方策の一つとして低炭素社会の構築を掲げ、「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づき、全国に先駆けて平成25年3月「川西市中央北地区低炭素まちづくり計画」（以下、「低炭素まちづくり計画」という）を策定しています。

「低炭素まちづくり計画」では、5つの分野ごとにそれぞれの方針（3ページ上表参照）を定め、地区の低炭素や省エネに配慮した持続可能なまちづくりに向けて、誘導する機能として、下図のようにまとめています。



「低炭素まちづくり計画」に定める5つの方針

方針1 都市構造分野	現在の都市構造を活かしたコンパクトなまちへの誘導
方針2 交通分野	公共交通、低炭素端末交通手段を守り育て低炭素な移動を確保
方針3 建築分野	自然エネルギー活用や景観配慮による魅力的な低炭素建築物への転換
方針4 みどり分野	みどりを育み、感じられるまち
方針5 エネルギー分野	エネルギーを感じられ、災害時に一定のエネルギーが確保されるまち

中央北歴史コラムーちょっとふるさと自慢（16）ー

この「ちょっとふるさと自慢」で、自然・地形の優れた特長を背景とした歴史と文化・産業の自慢を探っています。これまでに、この地域の「自慢・アイデンティティ」は語るにつきないものであると実感されます。なによりも歴史を振り返って、城下町でもないのですが「多田源氏の里」や「御家人が根付いた地」として、地域が主体的であったことが特長だと思われま

す。これを次の世代につなげることが私たちのつとめだと思います。今回は、どのようなことが可能なのか少し考えて、また「ちょっとふるさと自慢」の探索を続けたいと思います。是非、みな様も気づかれたことがありましたらお知らせください。

地域で地域の良さをつないでいくためには、次のようなつとめが想定されます。

- ・地域で地域のことをよく皆で知る
- ・地域の良さの名残を少し残してみる
- ・地域の自然・地形を愛で、風景・景観をしつらえていく
- ・地域の農作物やものづくりの技能を地域で楽しみ、伝えていく

例えば、具体化していく方法としては、このようなことが考えられないでしょうか。

（記録的な活用として）

- ・地域の歴史・物語や産業・産物の記録・保存展示
- ・これまで使われてきたものや培われてきたものを残し、公園や街角に配置し、記念碑、遊具、アート作品などとして活用
- ・キセウ地区では「金時坂」とのネットワークなど

（伝承的な活動として）

- ・地域イベントでの伝承アクションの連携（源氏まつりとの連携、きんたくんの所縁等）

（創造的な発信として）

- ・地域のものづくりの気風を伝え、新たな「ものづくりアート」などの活動拠点を演出など

今、新たに整備を予定している「中央公園」について、計画づくりから整備後の運営・活用方法などに至るまでを皆さんと一緒に検討していくための「ワークショップ」が始まります。地域の「ちょっとふるさと自慢」で伝えたいをつなげる機会として期待されます。この「地の利」を今日に活かすことが大切です。地域のまとまりと具体の一步が問われています。

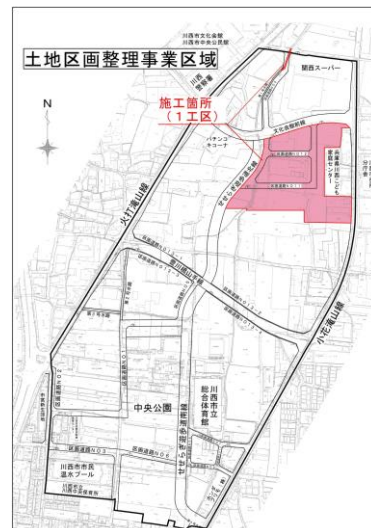
中央北整備部からのお知らせ

🌸引き続き土壌調査を行っていきます！

先般、今年度工事に着手をするために先行して7月から土壌調査をおこなってまいりましたが、引き続き、地区内全域で順次行ってまいります。

作業にあたっては、土地の立入を行い十分注意を払い実施させていただきますので、特段のご理解とご協力をお願いします。

詳しくは地区整備課(072-740-1207)へ。



🌸工事のご案内(第1工区)

前号でもお伝えしておりますように、事業計画に基づいて、第1工区の工事を行うことになりました。つきましては、ご迷惑にならぬよう注意を払いながら行いますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

工事範囲 中央北地区特定土地区画整理事業区域内
第1工区(右図)

工事期間 平成25年12月2日～平成26年3月17日
(作業時間：AM9:00～PM5:00)

※日曜、祝日は原則として休日

工事概要 整地工事：A=17,487㎡ 道路工事：ΣL=369m

施工業者 施工業者名：株式会社 山角興業

現場代理人：岩田 二郎

住所：川西市東久代1丁目3-2

TEL：072-759-4584

通行制限 一時、通行制限となる場合は、工事看板及びガードマンにより誘導いたします。詳しくは地区整備課(072-740-1207)へ



川西市中央北地区まちづくり協議会 計画検討委員会の開催お知らせ
第89回 計画検討委員会

日時：平成25年12月3日(火)17:30～ 場所：市役所2階201会議室

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。

登記されていない借地権がある方、権利者が死亡され名義変更されていない方の申告等を引き続き受け付けています！

権利の移動があった場合や、住所氏名の変更があった場合はご連絡を

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 中央北整備部 中央北推進室 地区推進課

TEL：072-740-1214 FAX：072-740-1330

日時：午前9時～午後5時半 (ただし、土曜・日曜・祝日は除きます)

HP：<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>